



12月 園だより



あそびの中にまなび

週末は、ご家族皆様さんでお越しいただき、ありがとうございました。

夢中になってやっていることや、みんなで意見を出し合っていること、今までも、そしてこれからもわくわくするあそびを集めたアート展でしたが、ご家族で楽しんでいただけましたでしょうか。

日頃から、「見てみて」というアピールをしては、できるようになったこと、がんばったところ、楽しんでいることを知ってもらいたい、認めてもらいたいと思っている子どもたち。アート展の日が待ち遠しくてたまらなかったようです。

乳児園では、好奇心いっぱいにはさまなことをして遊び、子どもたちのきらきらした表情に生きる力を感じます。お家でも保育園でもいっぱいの愛情を受けて、満たされているからこそその姿なのでしょう。

幼児園では、興味関心が湧いたことを自分たちで調べ、深く知っていきこうとし、知り得たことを表現することであそびがどんどん広がっていきました。いつも意欲的に遊んでいる子どもたちは、大人だったら見過ごしてしまうことや、気にもならない小さなことにもアンテナが立ち、表現したいものもどんどん増え、次から次へとアイデアが湧いてくるようでした。その姿を見ていると、気づく・感じる力や考える力、友だちと関わる力、行動力、失敗してもまた挑戦し、やり抜く力など、遊んでいる中でさまざまな心の成長＝学びが見られ、心が豊かにはぐくまれていることを感じます。

子どもたちは今、どきどきわくわく、楽しいことを満喫しながら人としての根っこを育てています。可能性を大きく広げ、変化しうる社会であっても淘汰されず、自分らしくしあわせに生きられる人になってほしいと願うばかりです。そして、私たち大人は乳幼児期の育ちが人生で一番大事だということを再認識し、保育園では、これからも子どもたちが何かに気づいた時も、何かを考える時も、やってみようとする時が動く時も…その時しかない一瞬を大切に、やりたいことを存分にやらせてあげられる保育を目指していきます。

さて今月は、参観ウィークを予定しています。保育園でのお子さんが楽しんでいることを間近で見させていただいたり、一緒にやっていただきながら、お子さんの気持ちに共感してあげてくださいね。また乳児園では、排せつや食事の場面、自分の身の周りのことを頑張っている姿も見させていただきたいなと思います

園長 香川 寮子



名前が決まりました。

にじびび〜です！

よろしくおねがいします。